

掛川の風景を創る会

2015年8月1日

平成27年度地域型住宅グリーン化事業（国土交通省）に掛川の風景を創る会が提案した、“時ノ寿木組の家”が採択されました。

提案した仕組みで住宅を建設した場合には、対象住宅の建設工事費の1割以内の額で、かつ対象住宅1戸当たり120万円を上限として補助されます。



“時ノ寿木組の家”の家づくりの仕組み

- 掛川の風景を守るというミッションから生まれ、同じ目標を共有する建築主＋設計者＋職人による掛川協働方式の家づくり。
- 建設・暮らし・解体の過程でゴミを出さない家づくり。
- 資産になる家…60年を目安に、耐震性・耐久性・温熱環境を維持し資産価値を守る。
- 作り手はフラットで並列な関係（元請け下請け関係の排除）で参加する。

“時ノ寿木組の家”の特徴

- 1) 手の跡（作り手自身が楽しみながらつくる、挑戦する、提案する、工夫する）
- 2) 用即美…構造と意匠の合一
- 3) 再使用・再利用可能な構法でつくる
 - ・産廃（ゴミ）を出さない
 - ・脱メンテナンスフリー（手入れをするほど味がでる）
 - ・新製品や最新機能に惑わされない売り物にしない→すぐに陳腐化する
- 4) 「土壁＋木組みの家」
- 5) 国が進める省エネに惑わされることなく、消資源と資源循環が本来の省エネで在ると理解する
- 6) 遠州州地域の風土に根ざしたデザイン
 - ・釜屋造りにまなぶ、住まいは土の熱容量を活用した輻射熱環境など

地域の暮らしを見つめ、その風土に合った暮らしを育み、地域の風景となる家づくりが、時ノ寿木組みの家です。

地域の材を知り、木組みが分かる職人達とつくる、丈夫で長持ち掛川版資源循環型住宅